

今後の学校生活に関するアンケート（令和2年6月実施）

年 組 児童氏名	保護者名
----------	------

I 休校中のお子様の生活について

1	毎日、きまった時間におきて生活をしていた。	◎	・	○	・	△
2	計画を立てて、学習にしっかり取り組んでいた。	◎	・	○	・	△
3	家のお手伝いを進んで取り組んでいた。	◎	・	○	・	△
4	ゲームやテレビ、インターネットの利用は時間やルールを決めて行い、やりすぎないように気を付けていた。	◎	・	○	・	△
<p style="text-align: center;">＜上記の質問については、あてはまるものに○をつけてください。＞</p> <p style="text-align: center;">◎…よくできていた ○…まあまあできていた △…あまりできていなかった</p>						
5	休校中のお子様の生活の様子で、担任に伝えておきたいことがあればお書きください。よくがんばったことや、上手に過ごしていたようすなどもお聞かせください。					

II 今後の学校生活について

6	お子様が不安に思っていることや心配に思っていることがあれば、○をつけてください。○はいくつつけていただいても結構です。					
ア	学校に合わせた生活のリズム		カ	学校行事にかかわること		
イ	友達とのコミュニケーション		キ	給食にかかわること		
ウ	学習に関すること		ク	放課後の過ごし方		
エ	休み時間の過ごし方		ケ	感染防止に係ること		
オ	登下校に関すること		コ	その他 ()		
7	これからの学校生活について担任に伝えておきたいことがあればお書きください。					

6月8日（月）・9日（火）に担任へ提出をお願いします

今後の学校生活に関する保護者アンケート集計結果

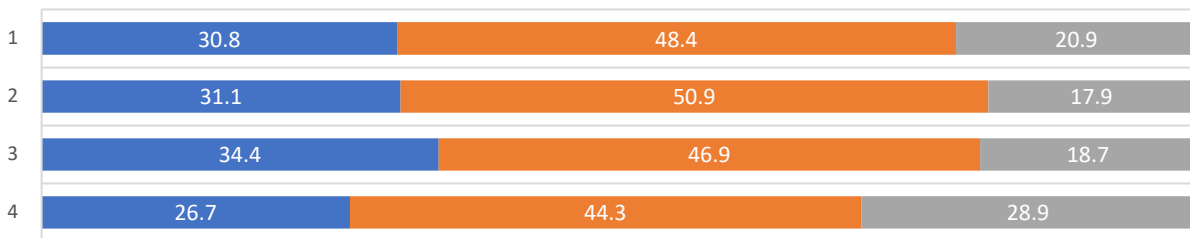
令和2年6月実施 607名回答

- 1 毎日、きまった時間におきて生活をしていた。
- 2 計画を立てて、学習にしっかり取り組んでいた。
- 3 家のお手伝いを進んで取り組んでいた。
- 4 ゲームやテレビ、インターネットの利用は時間やルールを決めて行い、やりすぎないように気を付けていた。

I 休校中のお子様の生活について

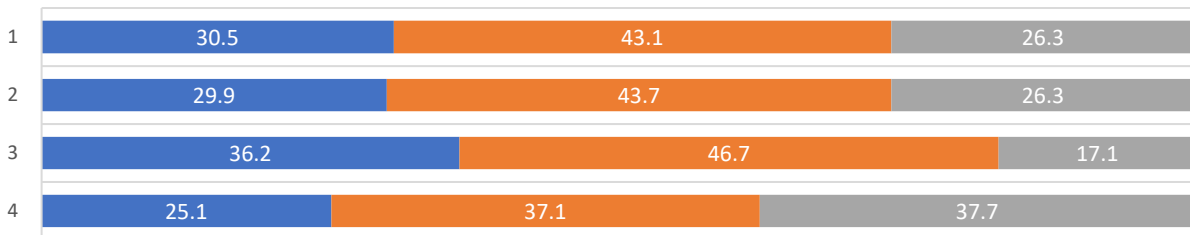
低学年（1～3年）

■できた◎ 3 ■まあまあ○ 2 ■あまり△ 1



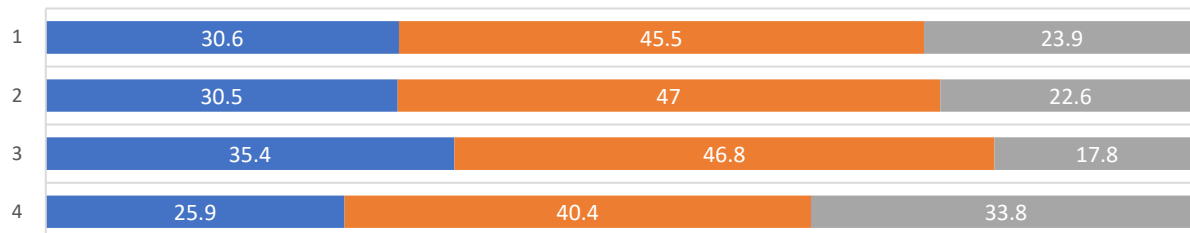
高学年（4～6年）

■できた◎ 3 ■まあまあ○ 2 ■あまり△ 1



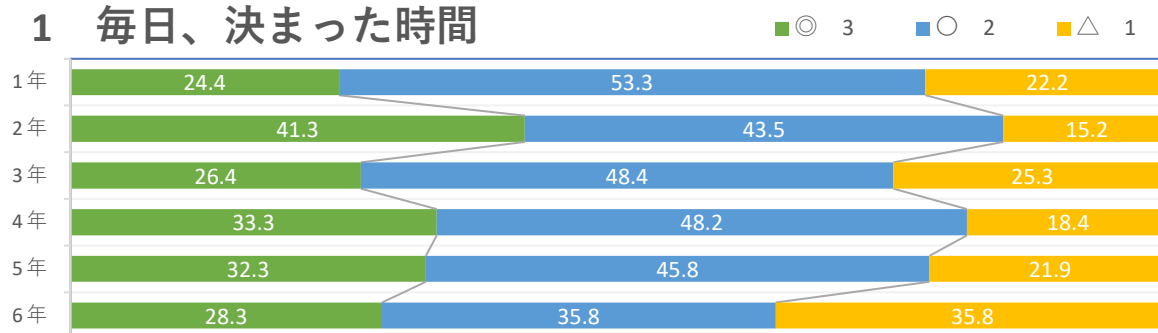
全学年

■できた◎ 3 ■まあまあ○ 2 ■あまり△ 1

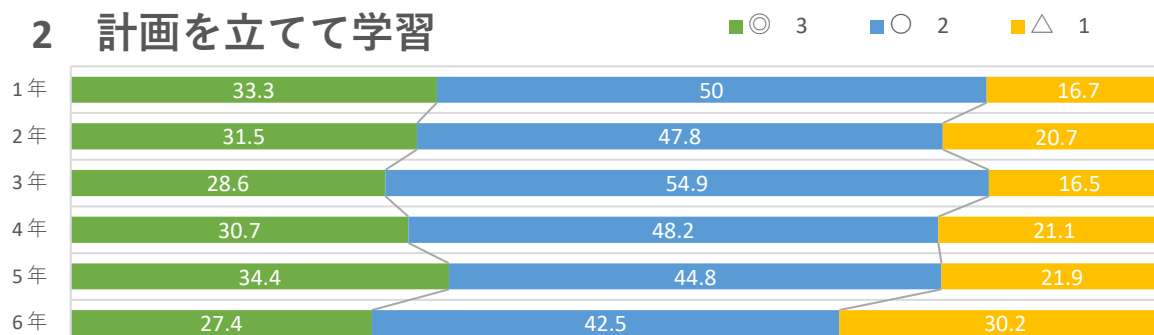


項目別回答の割合（％）

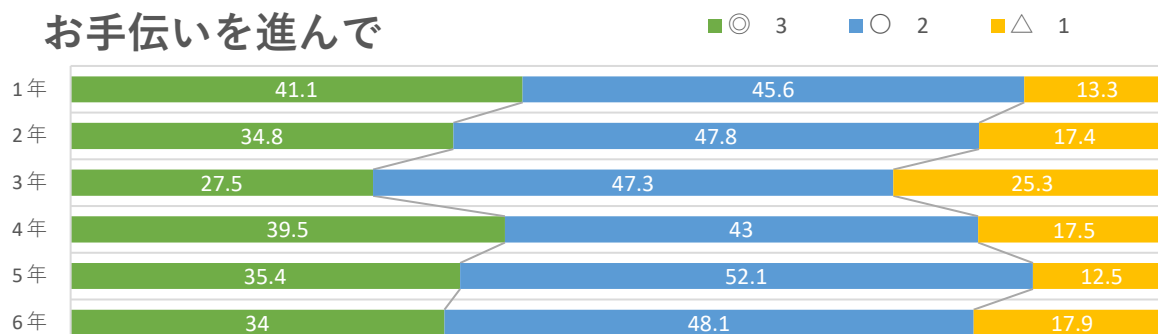
1 毎日、決まった時間



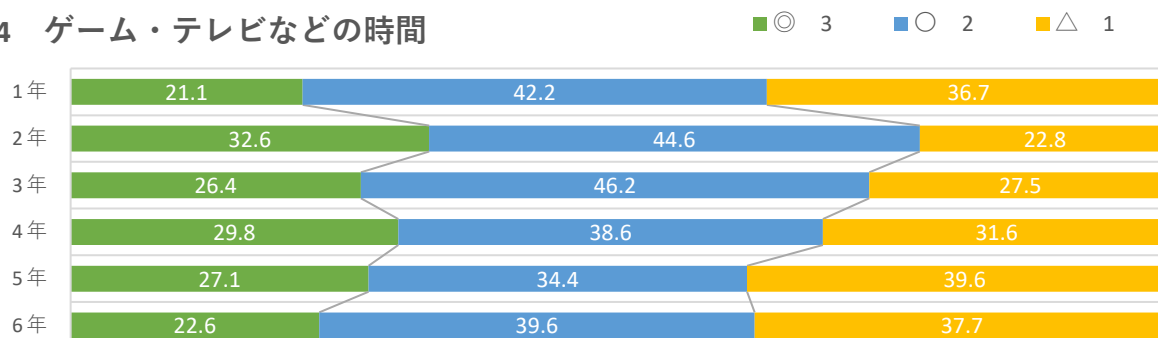
2 計画を立てて学習



3 お手伝いを進んで



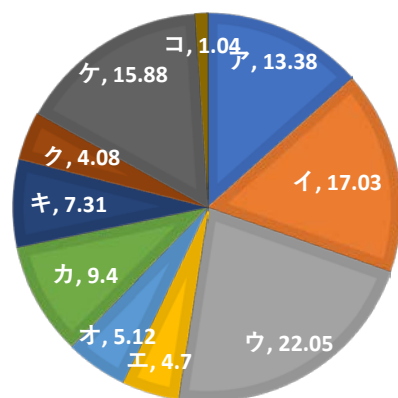
4 ゲーム・テレビなどの時間



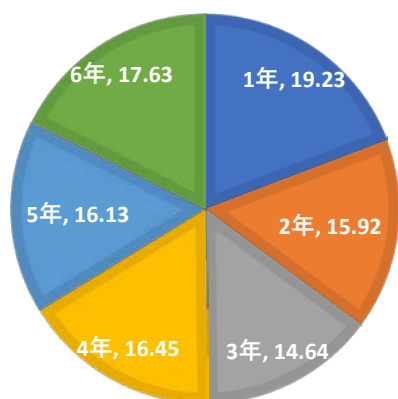
Ⅱ 今後の学校生活について（不安なこと・心配なこと）

記号	項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
ア	学校に合わせた生活のリズム	27	15	22	22	18	24	128
イ	友達とのコミュニケーション	35	26	27	20	30	25	163
ウ	学習に関すること	36	34	24	42	36	39	211
エ	休み時間の過ごし方	10	8	10	6	7	4	45
オ	登下校に関すること	18	8	6	5	8	4	49
カ	学校行事にかかわること	11	10	10	15	18	26	90
キ	給食にかかわること	21	15	6	10	6	12	70
ク	放課後の過ごし方	3	3	7	5	12	9	39
ケ	感染防止に係ること	17	29	23	29	32	22	152
コ	その他	2	1	2	0	5	0	10
合計		180	149	137	154	172	165	

全校の項目別割合（％）



学年別の割合（％）



結果・分析

I 休校中のお子様の生活について

1. 規則正しい生活について（毎日、決まった時間に起きて生活していた。）

- ① 全体では、「よくできた」・・・30%、「まあまあ」・・・46% 「あまり」・・・24%となっていて、数字的にはおおむね良好と考える。
- ② 1年生から5年生までは、「あまりできていない」の回答が2割程度であるが、6年生は、3割を超えている。
- ③ 2年生の「よくできた」の回答率が4割で一番高く、続いて、4.5年生の「よくできた」の回答率が高い。

2. 計画的な学習について（計画を立てて、学習にしっかり取り組んでいた。）

- ① 全体では、「よくできた」・・・30%、「まあまあ」・・・47% 「あまり」・・・23%となっていて、数字的にはおおむね良好と考える。
- ② 「規則正しい生活」と同様に1年生から5年生までは、「あまりできていない」の回答が2割程度であるが、6年生は、3割を超えている。
- ③ 学年が大きくなるにつれて、計画的に取り組む割合が低くなる傾向にある。

3. お手伝いについて（家のお手伝いを進んで取り組んでいた。）

- ① どの学年も3割から4割「よくできた」と回答している。
- ② 4項目では、一番「よくできた」の回答率が高い。
- ③ 発達段階での回答の差異はないと考えられる。

4. ゲーム・テレビなどの時間（ゲームやテレビ、インターネットの利用は時間やルールを決めて行い、やりすぎないように気を付けていた。）

- ① どの学年も2割から3割程度、「よくできた」と回答している。
- ② 4項目では、「よくできた」の回答率が一番低い。
- ③ 「あまりよくできなかった」の回答率も3割あり、高学年は、4割近い割合である。

II 今後の学校生活について（不安なこと・心配なこと）

1. 項目別にみると、学習のこと、友達とのコミュニケーション、感染防止に係ることが多かった。
2. 割合で見ると、学習のことは全体の数の2割であり、最も心配していることが伺える。
3. 学年別にみると「不安・心配なこと」の数は、どの学年もほぼ同じである。

考察

休校中の生活は、家庭の協力のおかげで、「規則正しい生活」は、おおむね良好であると考えられる。計画的な学習については、「あまりできなかった」の回答が2割から3割であることから、学校からの課題を理解し定着したかについて、今後の検証が必要である。お手伝いについては、よくできていると判断する。しかし、「ゲームやテレビ、インターネットの利用は時間やルールを決めて行い、やりすぎないように気を付けていた。」は、課題であり、今後も家庭とも連携して取り組む事項である。ICT環境が家庭によって異なることもあり、発達段階の差異ではなく、環境面での違いが大きいと考える。学校においては、子ども一人一人の学習状況を把握し、授業の中で定着を図れるような授業の工夫が必要である。また、長い間、集団での活動がなかったことから、子どもたちの心のケアを図りながら学校生活を支援する必要がある。保護者の方が不安・心配していることが、学習・友達とのコミュニケーション・感染予防が多く挙げられていることから、授業改善、授業時数の確保、教育相談の充実・ガイドラインの作成などの対応を整備するなど、状況に合わせたカリキュラムを整えていく。